

緑のボランティア通信

2025.4.1

No.98

令和7年度の主な事業紹介をします

公益財団法人川崎市公園緑地協会は、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進するため、緑の活動を支援、育成及び普及啓発を行うボランティアセンターとしての機能を有した緑の拠点として、様々な事業を行っております。

緑のボランティア活動支援事業

花と緑のまちづくりを進めるため、地域の身近な緑を増やしたり、残された大切な緑を守るボランティアと団体を支援します。

①「緑の活動団体」助成事業

公開性の高い場所で植樹、花壇づくり、プランター等により緑化を行い、年間を通じて維持管理を行う団体や下草刈等の緑地保全活動を行う団体を緑の活動団体として登録し、活動に係る費用の一部助成や、情報提供等の支援を行います。

②ボランティア通信の発行

緑のボランティアへの情報提供と連絡協調を図るとともに、広く市民に活動状況を知らせ、活動への新たな参加や新規団体の登録拡充を図ります。

③交流事業の開催

市内緑地の保全や緑化の推進にかかわる団体が、日ごろの活動の成果を広く市民に発表するとともに、これらの人々の交流を深めること等を目的に開催します。

④その他

緑の活動団体を対象にした出前講座、道具や図書の貸し出し、緑の人材バンクへの登録と活用などに取り組みます。



緑化推進・普及啓発事業

①緑地保全事業

特別緑地保全地区・緑地保全協定地・保存樹林等、市と管理協定を締結している所有者の方々に管理費の一部を助成します。

②緑化推進事業

市内で新たに「生垣づくり」及び「屋上・壁面緑化」を行う方に費用の一部を助成します。また、市内で新たに「駐車場緑化」を行う方に樹木を助成します。

③思い出記念樹「樹繫」

出生、幼稚園・保育園入園、小学校入学といった大切な思い出の記念に希望される方へ苗木を差し上げます。(受付：通年 配布：5月・10月)



目次

令和7年度の主な事業紹介	1
令和7年度の主な事業紹介のつづき／開催報告	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
いそろう植物のヒトリゴト	4

緑のボランティア育成事業

川崎市の魅力ある“花と緑のまちづくり”を目的として、市政策の状況を広報し市民との協働によるパートナーシップ型事業を行います。

①かわさきの森づくり（里山ボランティア育成講座）

里山の自然環境や管理手法を学習し、市内の様々な緑地で実技研修を行うことにより、里山活動の活性化と実際に活動始めるボランティアを育成します。

（実践編 13 回・講義編 2 回）



②こども黄緑クラブ（こども自然体験教室）

楽しみながら四季の自然に親しみ、川崎の緑に関心を寄せてもらうことで次世代の担い手を育成します。更にこどもだけでなく、大人向けの講座も開催します。

（年 12 回）

開催報告（1月～3月）

かわさきの森づくり（里山ボランティア育成講座）

1 月はかわさきの森づくりの最終回でした。実践編は岡上梨子ノ木特別緑地（麻生区）で開催し、内容は森林の若返りを目的にコナラの伐採を行いました。また、同日の午後に講義編を麻生市民館岡上分館で開催しました。野外活動の安全管理と救急法や神奈川県森林等の座学を行い、規定回数を終了した参加者に修了証の授与を行いました。

【実践編】 岡上梨子ノ木特別緑地（麻生区）



コナラの伐採

【講義編】 麻生市民館岡上分館（麻生区）



講義



修了証授与

こども黄緑クラブ・黄緑クラブおとな編

こども黄緑クラブは小中学生を対象に里山の循環をテーマにして1月「しいたけ①原木伐り出し」、2月「しいたけ②駒打ち」を開催しました。また、黄緑クラブおとな編は2月「緑地散策とバードウォッチング」を講師の神奈川県森林インストラクター「松石藤夫」先生をお招きして開催しました。

こども黄緑クラブ（小中学生対象）



黄緑クラブおとな編



緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー

平八幡公園管理運営協議会 (2024年設立)

活動場所 平八幡公園 (宮前区南平台2 1-2)

交通案内 川崎市営バス「東名向丘入口」バス停より徒歩4分



活動場所は会員が居住するマンションに隣接する平八幡公園です。公園の一角に道路公園センターの許可を得て造られた広さ約40㎡の花壇があります。前活動者が転居し長らく放置状態になっていましたが、再び公園に訪れる人の憩いの場、癒しの場となるようマンション居住者に花壇造り花育生の活動協力者を募り2024年2月新たに活動を立ち上げました。

公園緑地協会「出前講座」の協力を得て活動者数名で荒れた花壇の整備から始め、手探り状態でしたが花木の移植・土壌改良・花壇造りと4月には夏花苗（マリーゴールド、サルビア）の植付けが出来ました。6月には公園緑地協会の「協会の現地訪問」を受け「緑のボランティア通信特別号No.93」に紹介されました。

10月は全国都市緑化かわさきフェアの協働花壇として花苗をいただき、地域の花かざりに協力しました。夏場の水やり・除草作業も大変でしたが植付けた花はみな綺麗に開花させる事が出来ました。活動は月2回（第1・



3土曜日)を基本に行っています。活動休憩時にはお茶と雑談で活動メンバーの交流を深めています。公園来訪者から『花が綺麗』、『心が癒される』の声は2年目に入る活動にも大きな励みになります。

(鈴木 愛治)



まちの緑を守る会 (2022年設立)

活動場所 海道ひだまり公園 (麻生区はるひ野2丁目37) 他

交通案内 小田急多摩線「はるひ野駅」より徒歩15分



私達が活動している、はるひ野は市の北西に位置する黒川地区を造成して誕生した住宅地です。幹線道路沿いは、ツツジの植栽帯やハナミズキ等の街路樹で整備され8ヶ所の公園と、近くには湧き水があり多くの生き物が生息する黒川よこみね緑地など緑豊かな環境に恵まれています。



この緑豊かな街並みを残そうと、グリーンクラブが設立され1名の会員で活動を続けてきましたが、高齢化等で維持出来なくなったため、2022年に新たに会員を募って、まちの緑を守る会を設立しました。会員数は30名で半数近くは女性の会員です。はるひ野町内会では年に4回の一斉清掃を行っていますが、会の活動は、その後に8ヶ所の公園の草刈、植栽帯の刈り込みと街路樹の手入れを年に5回行い、

加えて毎月のゴミ拾いなど、町内会と協働で街の緑化を目指しています。昨年からは、これらの活動に加えて公園などに花壇を作り、花植えで花と緑が映える街づくりに向けた活動をしています。更に、花苗を廉価で販売したり家族で公園に花を植える催しも行っています。

(織野 草)



いそろう植物のヒトリゴト

知らず知らずのうちに花壇に入ってくる、いそろう植物たち。
本コラムでは植物の特徴をふまえながら、彼らの「独り言」に耳を傾けていきたいと思います。



“こんべいとう”
みたいで愛らしい？
オモノコ
そう思ったら残しておいて。
そうしたら・・・

17 「ヒメツルソバ」

(タデ科・イヌタデ属)

Persicaria capitata

観賞用として明治時代に日本に持ち込まれたヒマラヤ原産の多年草。3月から11月にかけて、球状に集まった1cm程度のピンク色や白色の花を多数つけ、「金平糖」のように見える。この容姿から、「愛らしい」という花言葉が付けられている。

ところが、見た目の可愛らしさと裏腹に、茎を匍匐させて広範囲に広がっていき、条件がそろえば花壇を埋め尽くすほどに増殖していく。

レモンイエローの
ハナバタケ ステキ
花畑は素敵でしょ？
オモノコ
そう思ったら残しておいて。
そうしたら・・・

18 「オオキバナカタバミ」

(カタバミ科・カタバミ属)

Oxalis pes-caprae

観賞用として明治時代に日本に持ち込まれた南アフリカ原産の多年草。春先に20～30cmの花茎を複数伸ばし、先端に10個ほどの鮮やかなレモンイエローの花をつける。

ところが、見た目の美しさと裏腹に、地下部に直径1cm以下の球根を多数生成して繁殖する。この球根は、根から剥がれやすく、根こそぎ引っこ抜いたつもりでも土壌中に残り、いつの間にかオオキバナカタバミの大群落が出来上がるということも起こりえる。



ペンネーム: きよすけ
(造園家・植物研究家)

植えてもないのに生えてくる道ばたの小さな雑草たち。「雑草」とひとくくりにされてしまっていますが、そんな“いそろう”たちにも一つ一つに名前と生態があります。このコーナーではそんな植物たちをご紹介します。新しく始まったこのコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援係

〒211-0052 川崎市中原区等々力3-12
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410
<https://www.kawasaki-green.or.jp>